



コスモスだより

【ニューストピックス】

治療と仕事の両立支援

長引く治療になれば、仕事を辞める
それ、もう常識ではありません！

当院は
紹介受診重点医療機関です

かかりつけ医からの「紹介状」を
ご持参ください

●新年のご挨拶

【お知らせ】

貝塚市役所 1 階に『まちの保健室』ができました
『出前講座』～地域の皆様の健康づくりのお手伝い～
市民公開講座のお知らせ
＝医療従事者向け情報＝
『緩和的放射線治療』患者さん受け入れのご案内
手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」導入！

病院の理念 基本方針

地域住民を支える良質な医療の提供

1. 地域の中核病院として、住民の方々の健康を守ります。
2. 常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実を目指します。
3. 急性期医療に加え、緩和ケア、在宅支援など、地域の医療機関との連携を密にし、地域の中で信頼される病院を目指します。
4. 住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく暮らし続けることができる「地域包括ケア」の推進に努めます。
5. すべての職種が協働して治療に取り組むチーム医療を実践します。
6. 合理的で健全な経営を推進し、職員一人ひとりが働き甲斐のある環境を整備します。

発行：市立貝塚病院 広報委員会

治療と仕事の両立支援

がん・心臓病・肝疾患など、反復・継続しての治療が必要になった時、あなたは仕事をどうしますか？
『治療と仕事の両立支援』は2012年頃から政策として推進されてきました。その背景には、がん患者さんの内3～4割の方が、治療が3ヶ月を経過するまでに離職しているなど「病気になるば、会社に迷惑をかけないようにしなければならない」、または「生活のために仕事は必要だから、治療より仕事を優先する」といった社会的抑圧という現状があります。今もなお、この社会的認識は大きく変わってはいません。
今回は、「治療と仕事の両立支援」の当院での取り組みをご紹介します。こうした支援の仕組みがあることを、是非皆様に知っていただきたいと思います。

■ 当院での治療と仕事の両立のためのサポート

■ 両立支援相談を増やすために、診断時から見守る体制を

『両立支援』は、支援対象者（患者さん）本人からの相談・申出を受けることから始まります。両立支援の相談は、病院の他、産業保健センターやハローワークなど公的な相談窓口で受け付けていますが、会社に申し出ることによりデメリットを感じる方も多く、相談することのハードルは決して低くはありません。

その中でも、『両立支援』の仕組みを活かすためには、治療を受ける病院での相談を増やすことが必要だと考えています。当院では、患者さんの意志を尊重しプライバシーを重視しながら、支援が必要な方が気軽に相談できるようコミュニケーションを深め、診察段階から見守る体制づくりに取り組んでいます。

上司、同僚に理解が得られるか不安

誰にどう話せばいいのかわからない

辞めたくないが、病気のことを知られたくない

周囲に迷惑がかかってしまうのでは

働く意欲はあるが、治療しながら働く自信がない

STEP 1 両立支援へのニーズを拾い上げる

外来受診時、入院時のコミュニケーションの中から、両立支援が必要と考えられる方には、院内の相談窓口をご紹介します。

ご希望に応じて企業側のサポートも！

主治医からの「意見書」の提出だけでなく、会社のご担当者や産業医と、治療と仕事の両立の具体的な内容を決めるための相談を直接行う場合もあります。また、復職後にプラン見直しの相談などを行う場合もあります。

STEP 2 まずはお気軽に両立支援コーディネーターにご相談ください

当院の両立支援コーディネーターが、不安や希望をしっかりと伺い課題を整理。今後の治療方針などを医師に確認しながら、どんな働き方ならできそうか、会社にどのように相談すれば良いかを一緒に考えていきます。

STEP 3

主治医や会社の産業医・支援対象者の意見を踏まえて、会社側が今後の働き方（プラン）を決定。

《患者さんが会社に伝えることが難しく、書類での提出を希望される場合》

＝ 患者さんのお話を伺いながら一緒に考え、書類作成もサポート ＝

患者さんの継続勤務が可能なのか、どのような働き方の配慮をすれば、どのような働き方ができるのか……検討する上で必要な情報を書面で伝えます。

- 会社から主治医へ：業務内容や勤務情報を伝える書面。
- 主治医から会社へ：上記情報を元に、就業継続の可否や就業上の措置※など、勤務継続のために望ましい配慮を記した書面。[意見書]

※就業上の措置の具体例／勤務時間短縮・出張や夜勤の制限・就業場所や部署変更

長引く治療になれば、仕事を辞める それ、もう常識ではありません！

病気を抱えながらも働く意欲・能力のある方が、
仕事を理由として 治療の機会を逃すことなく

治療の必要性を理由として 職業生活の継続を妨げられることなく

適切な治療を受けながら、生き生きと就労を続けられる社会へ！

■ 多職種で「両立支援コーディネーター資格」を取得 病院内の様々な場面での患者さんの声を 支援につなげる体制を目指しています

両立支援コーディネーターは、治療と仕事の両立に向けて、支援対象者（患者さん）と主治医、会社・産業医などとの調整を行う役割を担う者。そのために必要な、「医学／産業保健／労務管理／社会資源」などの知識を学び、資格認定を受けています。

しかし、仕事というプライベートな内容を、患者さんから相談として声を挙げるのはとても難しいことです。そこで、病院内でのちょっとした会話からでも支援につながる切っ掛けにするため、当院では幅広い職種で「両立支援コーディネーター資格」の取得を進めています。

両立支援は、患者さんの「働きたい」の意志決定から。
自分がどうしたいのか、どうできるのか
意志を固めるためのお手伝いから始めさせてください。

先が見えない状況の中「相談すると会社に伝わるのでは」と不安に思われる方もいらっしゃるかもしれません。でもご安心ください。私たちから、会社側に無断でコンタクトを取ることは決してありませんので、どんなお悩みやでもお話しください。経済面の公的サポートなどもお伝えして不安を少しでも解消しながら、一緒に考えていきましょう。

自分らしく働くために、私たち「両立支援コーディネーター」が一緒に考えます！



企業様へ

◆ 疾病を抱える労働者の増加

若年労働人口の減少・定年年齢の引き上げなど、労働力の高齢化が進んでいます。また、がんなど「不治の病」と言われた疾病も「長く付き合う病気」に変化しつつあり、疾病を抱えた労働者への対応が必要となる場面が、更に増えることが予想されています。

◆ 人材としてどう活躍してもらえるか

病気を抱えていても、働き方の配慮をすることで活躍できるはずの人材が、労働者の理解不足、職場の理解や支援体制の不足により離職に至ってしまうケースが多々あります。特に、産業医のいない中小企業では、具体的にどう対応すれば良いか悩んでいるご担当者様も少なくないことでしょう。

両立支援の対応が必要になった時、私たち「両立支援コーディネーター」をご活用ください。そして、両立に向けた前向きな対応を、是非よろしくお願い致します。

当院は「紹介受診重点医療機関」です

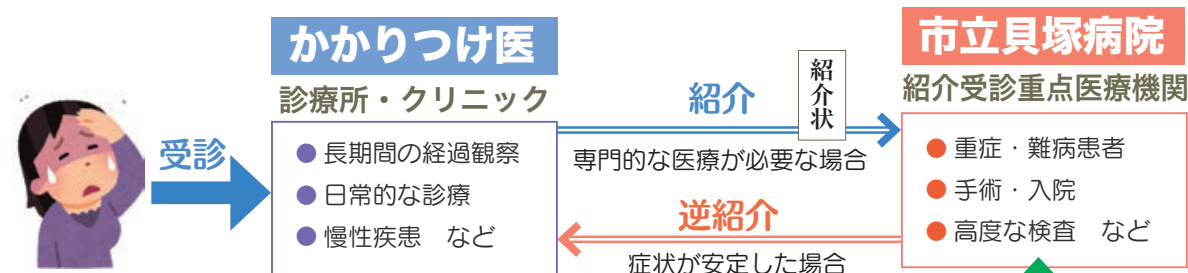
かかりつけ医からの紹介状を持って受診いただく
ことに重点をおいた医療機関で

より専門的な検査や治療を重点的に行う役割を担っています。

「紹介受診重点医療機関」は、令和4年度の新たに導入された制度です。
「かかりつけ医」と「紹介受診重点医療機関」の役割分担を明確にすることで、
外来の混雑緩和やスムーズな受診につながることが期待されています。

かかりつけ医 を持ちましょう

「かかりつけ医」と「市立貝塚病院」が役割分担を明確にし、協力しあって、
質の高い医療を提供できるよう努めています。まずは地域の診療所やクリ
ニックにて「かかりつけ医」を持ち、当院での受診が必要な場合は、でき
るだけ、かかりつけ医からの「紹介状」を持参してください。



「紹介状なし」で
紹介受診重点医療機関へ直接受診

選定医療費を負担

「紹介状なし」で受診された場合の 選定療養費の金額が変わりました

紹介受診重点医療機関では、紹介状なく受診した患者さんからは、初診時 7,000 円以上、再診時 3,000 円以上の
選定療養費の徴収が義務付けられています。ご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年1月1日から

初診時

2,200 円 (税込)

7,700 円 (税込)

※対象外／特定の公費制度等で受診・救急搬送・休日夜間に受診された方

再診時

徴収なし

3,300 円 (税込)

当院から他の医療機関への紹介状を交付されたにもかかわらず、当院を受診された場合。



新年のご挨拶

2024

新年あけまして
おめでとうございます



貝塚市病院事業管理者
片山 和宏

昨年5月にコロナウイルスによる感染症が、第5類に分類されて以降、世の中はコ
ロナ以前の活動に徐々に戻りつつありますが、病院内ではコロナ対策を継続せざるを
得ない状況が続いており、当面はウィズコロナの中で最適の医療の在り方を模索中で
す。この過程では、地域の皆様にも数々のご協力を頂き、誠に有難く感謝致します。

「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き延びるのでもない。唯一
生き残ることができるものは変化できるものである」、諸説あるようですが、チャー
ルズ・ダーウィンの名言とされています。コロナによるパンデミックは、日本の医療体
制の弱点をあぶり出しましたが、その教訓を生かした体制を作っていければと考えて
おります。

本年1月より、当院は「紹介受診重点医療機関」を届け出、それにふさわしい病院
作りを目指しています。紹介受診重点医療機関の制度は、かかりつけ医と病院の役割
分担を効率化させるとともに連携を強化し、病院が実施すべき医療体制に資源を集中させることが目的です。求めら
れるより高度な診療の実現に向け当院では、手術支援ロボットの導入、ハイケアユニット（HCU）の開設を予定し
ています。手術支援ロボット導入により、患者さんへの低侵襲手術が可能となります。またHCU開設により、より
高度で難易度の高い医療も提供できるようになります。これらを通じて、貝塚市の医療情勢により貢献できるものと
考えています。

課題はたくさんありますが、本年も市民病院の発展のために努力していきたいと存じます。どうぞよろしくお願い
いたします。



院長 長谷川 順一

令和2年1月以降猛威を振るってきたCOVID-19感染症は、令和5年5月にそ
の位置付けが2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移りました。
COVID-19感染症の対応に追われたこの4年間、当院は感染管理室が中心となり院
内全員で診療体制を整え、泉州地区の重点医療機関としての役割を果たしてきました。
この未曾有のパンデミックに対し世の中が大混乱する中、皆が一つの方向を向いて大
きな使命を果たすことができました。改めまして関係するすべての人に感謝し、恐怖
と隣り合わせであっても戦い続けてくれたスタッフに心から敬意を表します。

さて、令和6年の干支は甲辰（きのえたつ）です。「甲辰」には成功という芽が成長
し、姿を整えていくという意味合いがあります。我々は、どのように姿を整えるべき
でしょうか。医療法の改正に伴い、今年から市立貝塚病院は「紹介受診重点医療機関」
となります。これにより外来患者さんがスムーズに検査・治療を受けられるよう、地域の「かかりつけ医」の先生方
との連携をより強化することとなりました。救急以外は原則「かかりつけ医」からの紹介状が必要となります。これ
は、安心・安全で質の高い外来診療の提供体制を確保し、切れ目のない治療を受けることを目的としています。地域
の皆様、ご協力宜しくお願い致します。

新年の抱負は、リンカーンの言葉にある「人民の人民による人民のための政治」に倣い、市立貝塚病院は「地域の
地域による地域住民のための病院」となることとします。今更感がありますが、地域の方々の誰もが集える病院とし
ての役割を果たしていけるよう全職員が一丸となって邁進する所存です。本年も変わらぬご協力とご支援をお願い申
上げます。

■貝塚市役所1階に『まちの保健室』ができました 無料

生徒の相談や癒しの場である『学校の保健室』のように、
様々な不安や悩みを看護職に気軽に相談できる場所、それが『まちの保健室』です。

当院看護局では、大阪府看護協会の支援を受け『まちの保健室』
を昨年9月に開設。『血圧測定』や『体脂肪測定』を行う他、
「病院へ行くほどではないけれど、ちょっと気になることがある」
「家庭での療養生活のことでアドバイスが欲しい」など、
心や身体についての不安や悩みのある方の相談を受け付けています。
また、相談内容によっては、適切な支援が得られるように調整する
など、コーディネーターとしての役割も担ってまいります。

【対象】地域住民の方すべて
【日時】第3金曜日 / 14:00 ~ 16:00
【場所】貝塚市役所1階正面玄関ブース



■『出前講座』～地域の皆様の健康づくりのお手伝い～ 無料 要申込

当院の認定看護師・薬剤師・栄養士等がご希望の場所に出向き、
ご希望に添った内容の講義をいたします。

【対象】10人程度の集会 ※少人数でもご相談ください
【範囲】車で片道60分以内の場所
【日時】平日 / 10:00 ~ 16:00 講義は約1時間
【内容】ご相談のうえ調整 ※ご希望に添えない場合もあります。
【申込・お問い合わせ】地域医療連携室 ☎ 072-422-5865 (代表)

講座依頼者と内容例

- ・シルバー会「認知症のおはなし」
- ・保育園職員「感染症について」
- ・介護施設職員「摂食嚥下（食事介助実践）」
- ・自治会「高齢者の栄養について」

当院では、より専門的な医療知識を
学んだ「認定看護師」らが多数活躍。
医療・介護従事者からの専門的な講義
のご要望などにも対応しておりますの
で、是非ご利用ください。

＝当院勤務の認定・専門看護師＝

- 乳がん看護認定看護師
- がん化学療法看護認定看護師
- がん放射線療法看護認定看護師
- がん専門看護師
- 緩和ケア認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 慢性呼吸器疾患看護認定看護師
- 糖尿病看護認定看護師
- 摂食嚥下障害看護認定看護師
- 皮膚・排泄ケア認定看護師
- 認知症看護認定看護師

■市立貝塚病院市民公開講座のご案内 無料 要予約

開催日時	テーマ	講師	会場
1月17日(水) 14:00 ~ 15:00	高齢者のお肌を守るスキンケアのポイント	皮膚・排泄ケア認定看護師 高浦 聖乃	市立貝塚病院 7階講義室
3月12日(火) 14:00 ~ 15:00	脂質異常症の食事について	栄養管理室 室長 南川 敏江	市立貝塚病院 7階講義室

【申込・お問い合わせ】 ※マスク着用でご参加ください。当日、発熱のある方はご参加いただけません。

- 地域医療連携室 ☎ 072-422-5865 (代表)
- 1階総合案内でも予約受付しております
- FAX 受付：072-439-6061

(お名前・連絡先・申込する講座テーマ・日程をご記入のうえ送信してください)

◎先着順で定員(30 ~ 40名)になり次第受付終了



《手話通訳あり》

手話対応のご希望は
開催の1週間前までに
ご連絡ください。

市民公開講座



医療従事者向け情報（地域連携ニュース）

■『緩和的放射線治療』患者さん受け入れのご案内

当院では、在宅療養患者さんや放射線治療装置を保有していない医療機関で入院されて
いる患者さんへの『緩和的放射線治療』を実施しています。

放射線治療

緩和的放射線治療

がんによる痛みをはじめとする身体症状を
緩和し、QOL(生活の質)の向上を目指す。

根治的放射線治療

がん細胞を死滅させることで、がんの根治を目指す。

《緩和が期待できる症状》

- 骨転移による痛み
- がんによる出血
- 脳腫瘍による頭痛や嘔気・嘔吐などの神経障害
- がんによる気道の狭窄・閉塞（呼吸困難等）
- がんによる消化管の狭窄・閉塞（飲込困難等）
- がんによる麻痺・しびれなどの神経障害 など

『有痛性の骨転移』患者さんへの



緩和的放射線治療
＝ホットライン＝
地域の医療機関（主治医）と当院の放射線治療医が
電話で直接相談できます。

骨転移の患者さんについては、当院の放射線治療医と直
接電話でご相談いただけます。地域の主治医と連携して当
院への来院回数を減らし、患者さんの負担を軽減した緩和
的放射線治療を目指しています。

ホットラインの詳細については、令和5年8月に地域医
療機関の皆様へご案内していますが、令和6年2月に再度
郵送させていただきます。

※骨転移以外の緩和的放射線治療をご希望の場合は、地域
医療連携室で受付し、まずは当院の該当診療科を受診し
て病状を確認した後、放射線科にて治療を行います。

当院の放射線治療部門について

当院の放射線治療部門は、国内ではま
だ数少ない放射線治療専門医だけでな
く、医学物理士や放射線治療専任の診療
放射線技師・がん放射線療法看護認定看
護師も在籍。充実したスタッフ体制で、
高精度な放射線治療機器を安心・安全に
使用し、より効果的な治療を提供でき
るよう取り組んでいます。



高精度放射線治療装置 リニアック

■手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』導入！



INTUITIVE 社製 da Vinci Xi

かねてからの念願でありました手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』が、本年1月に
導入され、ロボット支援手術の本格的な稼働は今春を予定しております。

当院は「大阪府がん診療拠点病院」に指定されており、市民の皆様をはじめ近隣の
皆様に寄り添う医療の実現のため、最新・最良の医療の提供に取り組んでまいりました。
『ダ・ヴィンチ』の導入もその一環であり、地域の皆様により一層貢献できることを期
待しております。

副院長 兼 泌尿器科主任部長 能勢和宏

【対象診療科】外科・婦人科・泌尿器科

※各科の適応疾患は、ホームページに掲載予定です。

【お問い合わせ】地域医療連携室・各診療科 ☎ 072-422-5865 (代表)